

適用 高密度
拡大 は種

は種前から移植当日まで幅広く使える

水稲育苗箱用殺虫殺菌剤

ルーチン®パンチ

箱粒剤



いもち病防除の定番「ルーチン®」と
殺虫成分「シアントランリプロール」を配合

いもち病、初期害虫、
チヨウ目害虫

一括防除!



©バイエル
クロツアサイエンス

いもち病



苗腐敗症
(もみ結細菌病)



©バイエル
クロツアサイエンス

イネミスゾウムシ



©バイエル
クロツアサイエンス

イネドロオイムシ



フタオビコヤガ



イネヒメハモグリバエ

自然に学び自然を守る



最新の登録内容はコチラから

® ルーチンはバイエルグループの登録商標です。

ルーチン®パンチ箱粒剤の特長

- いもち病と水稻害虫に優れた効果 …… 水稻で問題となる主要な病害虫を幅広く防除します。
- 幅広い使用時期 …… は種前から移植当日までの間、いつでも使用可能です。
- イネに対する安全性が高い …… 薬害が生じるリスクが低いことが確認されています。

適用病害虫および使用方法 (2022年6月末現在)

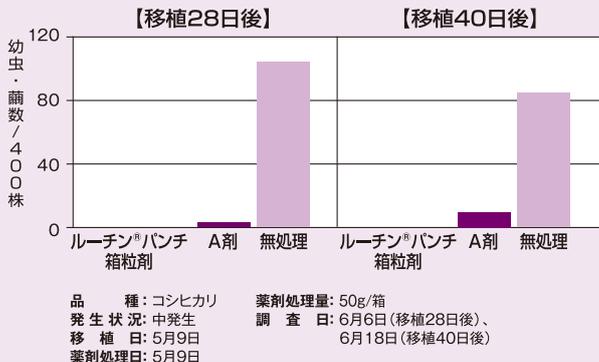
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	移植時	本剤：1回 シアントラニリプロール：1回 インチアニル：3回以内 (直播では種時または移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	側条施用
稲 (箱育苗)	いもち病、白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病、イナゴ類 ヒメトビウンカ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ コブノメイガ、ニカメイチュウ フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤：1回 シアントラニリプロール：1回 インチアニル：3回以内 (但し、移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	育苗箱の 床土又は 覆土に均一に 混和する
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g)			
	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ~ 移植当日	育苗箱の 上から均一に 散布する		
	高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g)				
苗立枯細菌病 苗腐敗症 (もみ枯細菌病)	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	育苗箱の 床土又は 覆土に均一に 混和する		
	高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g)				
	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前)		育苗箱の 上から均一に 散布する	

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

試験成績

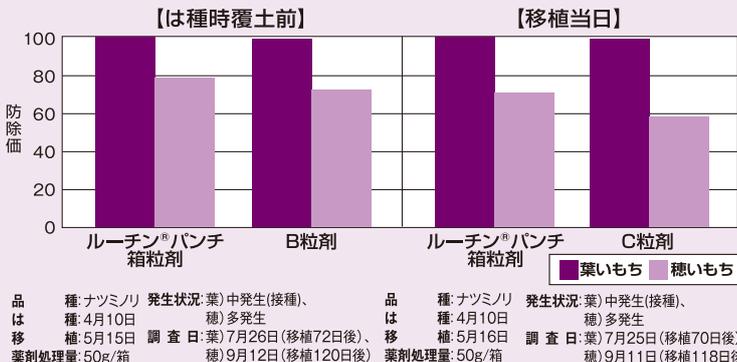
●イネドロオイムシ防除効果

(社)日本植物防疫協会
茨城研究所



●いもち病に対する効果

2013年 秋田県農業試験場



注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用して下さい。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 育苗箱の上から均一に散布し、薬に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植して下さい。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用して下さい。
- ヒメトビウンカに対しては残効性に注意して下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱に十分注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●防除日誌を記載しましょう。